

令和5年度の重点課題

- 男女ともに「握力」が県平均値及び全国平均値を下回っている。
- 男子は上記に加えて「上体起こし」「20mシャトルラン」「ボール投げ」が県平均値及び全国平均値を下回っている。
- 平日のメディア視聴・利用時間が2時間以上の生徒が80%である。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

- 「握力」「上体起こし」について、授業初めの補強運動でグーパー運動や腹筋運動を行い、徐々に回数を増やした。
- ・「20mシャトルラン」について、長距離走の授業時間を増やし、長距離を走る機会を増やすとともに、体づくり運動で縄跳び運動を取り入れた。
- ・「ボール投げ」について、球技の時間にはキャッチボールを必ず行い、投げる動作の経験を積ませるとともに、バドミントンやバレーボールの授業で腕を振る動作の確認等を行い体の使い方の学習を充実させた。
- ・運動会や球技大会で投げる動作を行う種目を意識的に取り入れた。
- ・駅伝部発足時に多くの生徒の参加を促した。

令和6年度新体カテストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	27.91	24.05	49.32	48.36	63.91		8.17	190.45	20.18	59.77	第2学年	23.63	24.63	53.56	44.38	48.33		8.69	165.81	14.33	51.27

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体カテストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	27.91	24.05	49.32	48.36	63.91		8.17	190.45	20.18	59.77	第2学年	23.63	24.63	53.56	44.38	48.33		8.69	165.81	14.33	51.27

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	81.82	18.18	0.00	0.00	第2学年	81.25	18.75	0.00	0.00

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・引き続き「握力」「上体起こし」について、授業初めの補強運動でグーパー運動や腹筋運動を行い、徐々に回数を増やしていく。
- ・「20mシャトルラン」について、長距離走の授業時間を増やし、とともに授業初めの補強運動として5分間走を実施するなど長距離を走る機会を増やす。
- ・「立ち幅跳び」について、バレーボールやバスケットボールの授業において、腕の振り方や上へ跳ぶときの体の使い方を学ばせるとともに補強運動としてジャンプ運動を取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・駅伝部発足時に多くの生徒の参加を促し、全校での取組を充実させる。
- ・各個人にトレーニング計画を立てさせ、計画的に家庭でのトレーニングに取り組みさせる。
- ・全校朝会や便り等を通して、生徒、保護者に適切なメディア利用時間の啓発を引き続き行う。

重点課題

情意面での課題

○平日のメディア視聴・利用時間が3時間以上の生徒が43%である。

体力面での課題

○男女ともに「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」が県平均値及び全国平均値を下回っている。
○男子は上記に加えて「握力」「上体起こし」「50m走」「ボール投げ」が県平均値及び全国平均値を下回っている。

令和7年度の
重点目標値

- 男女とも「反復横跳び」を県平均値及び全国平均値以上にする。
- 男子の「握力」「上体起こし」を県平均値及び全国平均値以上にする。